

令和3年度事業報告

少子高齢化や人口減少の急速な進行、家族形態の変容等を背景に、家族間や地域における支え合い機能が脆弱化する中、8050問題や社会的孤立、虐待、貧困の世代間連鎖など、従来の福祉制度の枠組みだけでは捉えきれない課題への対応が求められています。また、長期化する新型コロナウイルス感染症の拡大は、福祉、保健、医療、教育、子育てなどの分野のみならず、経済等あらゆる分野に大きな影響を及ぼし、「新しい生活様式」を踏まえた人と人とのつながりや福祉事業・活動の展開が必要となりました。

こうした情勢の中、本県においては、「地域共生社会」の実現に向け、住民自ら地域の福祉・生活課題を発見し、解決につなげることができる地域コミュニティの形成が求められており、これらの課題に福祉施設・団体、関係機関、専門職、住民、行政等が連携・協働して解決に取り組むための包括的・重層的な支援体制づくりが重要な課題となっています。

本会としては引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を施しながら、「ともに生き、ともに支え合う福祉社会の実現」を基本理念とする第4次活動推進計画に基づき、誰もが住み慣れた地域で人や社会とのつながりを持ちながら、必要な支援を受け、自分らしく安心して暮らすことができる地域づくりを目指し、以下の基本目標のもと、地域福祉の視点から民生委員・児童委員等社会福祉事業関係者はもとより、保健、医療、教育等関連分野との連携・協働を図りながら事業を実施しました。

【基本理念】 「ともに生き、ともに支え合う福祉社会の実現」

基本目標1 「あらゆる福祉・生活課題を受け止め、解決に向けて寄りそいます」

基本目標2 「誰もがつながり、支え合う地域づくりをすすめます」

基本目標3 「福祉を担うひとづくりと福祉サービスの向上に取り組めます」

本会が実施した主な取り組みは、次のとおりです。

- (1) 組織横断的なメンバーによるプロジェクトチームを設置し、「とやま型地域共生社会」の実現に向け、本会が果たすべき役割や強化・発展すべき事項等を示す新たな計画（強化発展計画（第5次活動推進計画）2022～2026）の策定に取り組みました。
- (2) 長期化する新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による休業や失業等のため、一時的または継続的に収入が減少した世帯の資金需要に対応するため、市町村社協とともに緊急小口資金及び総合支援資金（生活支援費）の特例貸付を引き続き実施しました。
- (3) コミュニティソーシャルワーク研修等を通じた市町村社協等における個別課題と地域の生活課題への対応力強化を図るとともに、市町村における包括的な支援体制の構築に向けたセミナー・研修会を開催するなど、包括的支援の推進を図りました。
- (4) 福祉人材の確保・定着を図るため、福祉のお仕事フェアや介護分野・障がい福祉分野に就職する方を支援するための新たな貸付事業等の実施、新任職員へのフォローアップとネットワーク形成の支援、福祉・介護職場の魅力を発信するテレビCMの制作・放送等を行いました。
- (5) 福祉施設・事業所を対象に、支援を必要とする方への見守りやコミュニケーションなどにおけるICTの活用や介護ロボットの活用を推進するための研修を開催するなど、質の高い福祉サービスを効果的・効率的に提供するための支援を行いました。

【推進項目 1】

身近な地域（生活圏域）における総合相談体制の構築による包括的な支援の提供

住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、福祉・生活課題について住民自らが主体的に解決していくことが重要です。しかし、地域には経済的困窮や社会的孤立等を含め多様な課題が多くあり、住民だけでは解決できないものがあります。

また、課題を抱える家族は、高齢者から子ども・障がい者等様々な構成で成り立っていることもあり、家族全体を捉えながら、本人の自己決定を基本におき支援をすることが求められます。そこで、専門職と地域住民の連携とフォーマル、インフォーマルな社会資源の活用や開発を含めた包括的な支援や活動の推進に取り組みました。

1 住民のあらゆる福祉・生活課題に対応するための全世代・全対象型の相談体制の構築による包括的な支援の提供

(1) 小地域（日常生活圏域）における住民主体の助け合い活動の拡充

① 小地域福祉活動推進事業

ア 地域総合福祉活動（ふれあい型・ケアネット型・融合型）事業

旧小学校区等小地域をエリアとして行われる「ふれあいサロン」など福祉コミュニティ活動の振興と要支援者に対する見守りや生活支援活動への助成

15 市町村 265 地区で実施

イ 地域総合福祉活動ケアネットセンター運営事業

15 市町村社協に対してコーディネート業務費用等を助成

ウ 地域総合福祉活動ケアネット活動支援事業

ケアネット型事業を実施する社協及び地区に対する助言・支援、ケアネット活動の普及啓発事業等

- ・ ケアネット活動普及啓発事業（各種会議や研修会、地区懇談会等でパンフレット配付）
- ・ ケアネットアドバイザー派遣事業の実施

市町村社協及び地区社協で開催するケアネット活動に関する研修会への講師派遣等を行った。

- ・ ケアネット支援職員配置事業
- ・ ケアネット活動コーディネーター研修事業

（第 1 回）令和 3 年 7 月 30 日（金）

サンシップとやま 参加者：17 名

ケアネット事業の機能整理と市町村における位置づけの明確化

（第 2 回）令和 3 年 12 月 17 日（火）

サンシップとやま 参加者：19 名

ケアネット事業から見えた課題とそこから広がる取組みについて

（第 3 回）令和 4 年 2 月 22 日（火）

サンシップとやま 参加者：17 名

ケアネット活動コーディネーター等の実践事例に関する相互検討

- ・ 富山県地域総合福祉ケアネット活動評価検討委員会

令和 4 年 3 月 8 日（火） サンシップとやま

ケアネット活動推進のための今年度の実施状況評価及び今後の取組課題や効果的実施方法等に関する協議を行った。

- ・ ケアネット活動リーダー研修会の開催
 - (富山地区) 令和4年3月10日(木) 参加者:33名
 - (高岡地区) 令和4年3月24日(木) 参加者:36名
 - 講演「地域の困りごとの発見と新たなつながりの発掘」
 - 講師 富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏
 - 演習 見守り活動における「気づきのチェックリスト」作成と対応について

(2) 地域における総合相談体制の構築

① 生活福祉資金(総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金)、臨時特例つなぎ資金の貸付

ア 資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより当該世帯の自立を支援した。

貸付決定実績(令和3年4月1日～令和4年3月31日):242件、39,495,153円

イ 新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等のため、一時的または継続的に収入が減少した世帯の資金需要に対応するため、緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付を実施した。

貸付決定実績(令和3年4月1日～令和4年3月31日):4,812件、1,710,358,000円

ウ 円滑な事業運営を図ることを目的に生活福祉資金運営委員会を開催した。

第1回 令和3年5月26日(水)

第2回 令和3年9月14日(火)

第3回 令和3年11月30日(火)

第4回 令和4年3月16日(水)

エ 滞納世帯に対する生活状況に応じた償還指導と不良債権の整理(職権免除を含む)

滞納世帯に対しては、世帯の生活状況に応じた相談支援や償還指導を行った。

また、生活福祉資金貸付金償還免除規程の償還免除適格要件に該当する長期滞留債権については、運営委員会に諮り職権免除を行った。(免除債権数:15件)

オ 市町村社協及び生活困窮者自立支援事業との連携・協働による事業推進

生活福祉資金貸付事業・生活困窮者自立支援事業担当職員合同研修

(第1回) 令和3年10月20日(水) オンライン 参加者:21名

講義「新型コロナ影響下における外国人支援の事例から考える課題」

講師 NPO法人国際活動市民中心 コーディネーター 新居 みどり 氏

(第2回) 令和3年12月2日(木) サンシップとやま 参加者:21名

講義「富山県外国人ワンストップ相談センターに寄せられる相談」

講師 富山県外国人ワンストップ相談センター

コーディネーター 清水 文代 氏

生活福祉資金貸付事業・生活困窮者自立支援事業担当者連絡会

令和3年12月2日(木) サンシップとやま 出席者:23名

離職者・求職者等に対しては、自立相談支援機関と連携し、世帯の生活再建に必要な相談支援を行いながら貸付を実施した。

② 生活困窮者自立支援対策推進事業

生活困窮者自立支援事業と生活福祉資金貸付事業の担当者の合同研修会を通して、社協内での連携を深めるとともに、新型コロナ影響下における外国人支援と他機関との連携について、事例を通して具体的な支援方策等を学んだ。

③ 東部生活自立支援センター運営事業

- 富山県魚津総合庁舎内に設置した「富山県東部生活自立支援センター」において、県東部 8 市町村（魚津市、滑川市、黒部市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町）を対象に「自立相談支援事業」、「就労準備支援事業」及び「家計改善支援事業」を実施
- ア 新規相談受付件数：249 件、支援プラン策定件数：35 件、自立相談支援事業による就労支援対象者数：31 件
 - イ 巡回相談及び出張相談の実施：毎月 1 回、8 市町村社協において巡回相談を行うとともに必要に応じて出張相談を実施した。
 - ウ 就労準備支援事業の一環として、模擬面接、履歴書作成支援、健康維持とひきこもり防止を目的にウォーキング等の軽運動の機会を提供した。
 - エ 富山県弁護士会との連携により毎月 1 回、法律相談を行うとともに、具体的な支援方法について助言をいただいた。

④ 包括的支援体制推進事業

- 市町村における包括的な支援体制の構築に向け、行政・関係機関等と合同で学ぶことで、体制構築に向けた取組みの推進を図った。
- ア 「重層的支援体制構築事業を進めるためのセミナー」の開催
重層的支援体制整備事業の推進について共通理解を図るためのセミナーを行政、社協、社会福祉法人、介護保険事業者、民生委員・児童委員、NPO等の参加の元、砺波市で開催した。
令和 3 年 12 月 1 日（火） 砺波市文化会館 参加者：44 名
講義「地域住民の生活課題解決に向けた地域共生政策の進め方」
講師 富山大学人間発達科学部 准教授 野田 秀孝 氏

⑤ 地域ケア会議の手法とファシリテーター養成講座の開催

多様化、複雑化した事例に対し多職種による支援体制を構築するため、生活視点のアセスメントを中心とした事例検討の手法について学ぶ講座を開催した。

（砺波市社協）

- 令和 3 年 10 月 29 日（月） 砺波市文化会館 参加者：25 名
講義「野中式事例検討の特徴と意義、構造を学ぶ」
講師 半田市社会福祉協議会 事務局次長 前山 憲一 氏

事例検討 I

- | | | |
|----------|------------------|----------|
| 事例提供者 | 砺波市 社会福祉課主事 | 石田 翔太郎 氏 |
| ファシリテーター | 半田市社会福祉協議会 事務局次長 | 前山 憲一 氏 |

事例検討 II

- | | | |
|----------|------------------|-----------|
| 事例提供者 | 砺波市社会福祉協議会 主査 | 五十里 奈津代 氏 |
| ファシリテーター | 砺波市社会福祉協議会 主任 | 澁谷 嵩広 氏 |
| 板書 | 砺波市社会福祉協議会 主事 | 谷村 恵理奈 氏 |
| アドバイザー | 半田市社会福祉協議会 事務局次長 | 前山 憲一 氏 |

（南砺市社協）

- 令和 3 年 11 月 30 日（月） 南砺市井波社会福祉センター 参加者：24 名
講義「野中式事例検討の特徴と意義、構造を学ぶ」
講師 半田市社会福祉協議会 事務局次長 前山 憲一 氏

事例検討 I

事例提供者	南砺市社会福祉協議会	主任	山本 直子 氏
ファシリテーター	半田市社会福祉協議会	事務局次長	前山 憲一 氏

事例検討 II

事例提供者	南砺市社会福祉協議会	主事	山田 慶太 氏
ファシリテーター	南砺市社会福祉協議会	主事	重原 幸世 氏
板書	南砺市社会福祉協議会	主事	水口 良幸 氏
アドバイザー	半田市社会福祉協議会	事務局次長	前山 憲一 氏

(3) 市町村社協の基盤強化支援及び役職員の資質向上

① 市町村役職員研修会の開催

社会福祉協議会地域福祉実践研究発表会

地域共生社会の実現に向けた施策等が進められる中、県内の市町村社協それぞれの取り組みの成果・課題等を振り返り、共有することで、これからの社協の地域福祉実践に資するとともに、関係機関や行政等が社協の役割・機能に対する認識を深め、さらなる連携強化を図るための機会とした。

令和4年1月28日(金) パレブラン高志会館及びオンライン 参加者：113名

実践発表者 8市町村社協

コメンテーター 富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策 氏

② 地域福祉推進担当者会議の開催

市町村社協の地域福祉担当者を対象に情勢報告や今後の活動方針について協議

令和3年5月21日(金) 富山県民会館

取組報告 包括的支援体制推進に向けた取組みについて

事業説明 令和3年度地域福祉関係事業説明

情報交換 包括的な支援体制づくりに向けた取組み及び重層的支援体制整備事業への関わり等について

③ 市町村社協職員研修・支援事業

市町村社会福祉協議会事務局次長研修会

令和3年8月26日(木) オンライン 参加者：24名

講義「地域における包括的な支援体制づくりと社会福祉協議会に求められる役割」

講師 文京学院大学 教授 中島 修 氏

取組状況報告「氷見市における包括的な支援体制づくり」

報告者 氷見市社会福祉協議会 事務局次長 森脇 俊二 氏

情報交換 地域共生社会に向けた包括的支援体制の構築に関する取組みについて

④ 市町村社協巡回訪問支援

市町村社協を巡回訪問し、活動・組織強化に向けた課題集約や意見交換、情報提供・助言を行ったほか、「地域福祉活動計画」の改訂に取り組む市町村社協への職員派遣、各種研修会への講師派遣等を行った。

(4) 民生委員・児童委員との連携・協働

① 富山県民生委員児童委員協議会の活動支援

民生委員・児童委員研修

- ・ 市町村・地区民生委員・児童委員会長研修

令和3年7月1日(木) 富山県民会館 参加者：163名

研修報告「全国民生委員指導者研修会に参加して」

報告者 富山県民生委員児童委員協議会 理事 榎 悟常氏

講演「地域共生社会実現のために民生委員・児童委員が担うべき役割」

講師 ルーテル学院大学 教授・学術顧問 市川 一宏氏

- ・ 新任民生委員・児童委員研修

(東部会場)

令和3年11月15日(月) 富山県民会館 参加者：428名

(西部会場)

令和3年11月22日(月) 砺波市文化会館 参加者：266名

講義Ⅰ「民生委員・児童委員のセルフ・コンパッション」

講師 NPO法人りばていOne 代表 臨床心理士・公認心理師 坂本 美奈子氏

講義Ⅱ「これまでの経験を活かした民生委員・児童委員活動の展開と地域共生社会

実現のために出来ること」

講師 日本福祉大学 社会福祉学部 教授 小松 理佐子氏

- ・ 民生委員・児童委員課題別研修

(東部会場)

令和3年12月14日(火) ボルフアートとやま 参加者：111名

(西部会場)

令和3年12月21日(火) 高岡問屋センター 参加者：43名

講義と演習「地域における福祉課題と民生委員・児童委員による支援について

～実事例を通して考える～

講師 富山国際大学 子ども育成学部 教授 相山 馨氏

- ・ 心配ごと相談員・民生委員児童委員相談援助技術研修会

令和4年3月15日(火) 富山県市町村会館 参加者：38名

講義「相談面接における基礎知識」

講師 富山国際大学 子ども育成学部 教授 村上 満氏

② 民生委員・児童委員互助共励事業の実施

全国民生委員互助共励事業 55件、803,000円

(5) 福祉のまちづくり活動の推進

① 富山県民福祉推進会議の開催

令和3年7月20日(火) サンシップとやま

内容：令和2年度事業報告、令和3年度事業計画、

福祉のまちづくり推進に関する意見交換、福祉のまちづくり宣言

② やさしい福祉のまちづくり賞の表彰と普及・啓発

- ・ 第23回「やさしい福祉のまちづくり賞」表彰選考審査会の開催

令和3年9月29日(水) サンシップとやま

- ・ 福祉のまちづくり賞等の表彰（活動や取り組みの部門）まちづくり賞 2 点

③ 福祉フォーラムの開催

- ・ 第 25 回福祉フォーラムの開催

テーマ「コロナ禍に負けない福祉のまちづくり、ココロを密にしてみんなで支え合う
社会への 1 歩へ！」

令和 3 年 11 月 20 日（土） サンシップとやま 参加者：120 人

パネラー 社会福祉法人新川会四ツ葉園 園長 山岸 親史 氏

NPO 法人えがおプロジェクト 代表 出分 玲子 氏

黒部市社会福祉協議会 主幹 濱松 一美 氏

コーディネーター 富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏

（6）福祉関係団体とのネットワーク構築

① 社会福祉施設・団体正副会長連絡会議の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

（7）各種福祉団体への支援・協力

① 各種福祉団体の事務局受託（5 団体）

富山県保育連絡協議会、富山県老人福祉施設協議会、富山県デイサービスセンター協議会、富山県地域包括・在宅介護支援センター協議会、富山県ホームヘルパー協議会への支援

② 在宅心身障害児通園訓練事業への助成

③ 福祉団体活動等への支援

（8）各種ニーズに対応した福祉総合相談体制の充実

① 高齢者総合相談センターの運営

高齢者及びその家族などが抱える生活・保健・福祉等に係る心配ごと、悩みごと等の各種相談に電話・来所・Eメール等により応じた。

一般相談（一般相談員）593 件

専門相談（弁護士、税理士、社会保険労務士、保健師）178 件

認知症ほっと電話相談（保健師・看護師）26 件

総相談件数 797 件

② 難病相談・支援センター事業

ア 難病患者等に対する個別相談（専門医による相談含む）

・ 相談支援業務 実人数 366 名、延人数 1,194 名

・ 専門医相談（神経難病・膠原病・炎症性腸疾患・リハビリ相談）4 回 相談者：15 名

・ ピアサポーターによる相談 5 回 相談者：延 8 名

・ アドバイザー会議 9 回

イ 難病患者に対する就労支援

・ 就労支援者数 387 名

・ 就労相談会（難病患者就職サポーター） 8 回 16 名

ウ 講演会、研修会等の開催（患者・家族・支援者等）

・講演会・研修会

令和3年5月18日（土） サンシップとやま 参加者：21名 録画配信：6名

講義「サルコイドーシス」

講師 富山大学附属病院 リウマチ・膠原病内科 診療助手 木戸 敏喜 氏

令和3年8月21日（土） サンシップとやま 録画配信：19名

講義「小児炎症性腸疾患」

講師 富山県立中央病院 消化器内科 部長 松田 耕一郎 氏

令和3年10月23日（土） サンシップとやま 参加者：17名 録画配信：19名

講義「重症筋無力症」

講師 富山大学附属病院 脳神経内科 診療副科長 道具 伸浩 氏 他

令和3年11月6日（土） サンシップとやま 参加者：10名

講義「炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー」

講師 富山大学附属病院 脳神経内科 診療科長 教授 中辻 裕司 氏 他

令和3年11月13日（土） サンシップとやま 参加者：17名

講義「好酸球性多発血管炎性肉芽腫症」

講師 富山大学附属病院 リウマチ・膠原病内科 診療講師 朴木 博幸 氏

・疾患別交流会

令和3年4月17日（土） 多発性嚢胞腎 参加者：5名

令和3年11月27日（土） 多発性硬化症/視神経脊髄炎 参加者：6名

球脊髄性筋萎縮症 参加者：4名

令和3年12月10日（土） 重症筋無力症 参加者：8名

・ピアサポーター養成講座

令和3年7月10日（土） サンシップとやま 参加者：8名

基礎編Ⅰ 講義「ピアサポートでの上手な声のかけ方、話の聞き方」

講師 臨床心理士 高野 利明 氏 他

令和3年10月16日（土） サンシップとやま 参加者：11名

基礎編Ⅱ 講義「難病になった時役立つ制度」

講師 富山大学附属病院難病医療支援室 社会福祉士 山根 万季 氏 他

令和3年12月4日（土） サンシップとやま 参加者：10名

応用編 講義「寒い冬を元気に過ごすための食事」

講師 野菜ソムリエコミュニティ 代表 田中 美弥 氏

・交流サロン&ミニセラピー

令和3年10月30日（土） サンシップとやま 参加者：12名

エ 情報の収集提供

・難病患者の支援啓発事業

対象：医療・介護者を目指す学生 7回 計708人

・「富山県難病相談・支援センター事業案内ちらし」の作成・配布

24,500部作成、難病医療費助成受給者及び関係機関に配布

・「富山県難病相談・支援センターだより」の作成・配布

400部作成、関係機関及び全国の難病相談・支援センターに配布

・「小児慢性特定疾病児童等自立支援事業案内ちらし」の作成・配布

1,000部作成、小児慢性特定疾病受給者に配布

- ・「災害準備パンフレット」の増刷・配布
 - 10,000部作成、難病医療費助成受給者等に配布
 - ・地域支援 看護学校講義：2回
 - オ 厚生センター・保健所との連携・技術支援
 - ・療養相談会講義
 - 令和3年7月20日（火） 新川厚生センター 参加者：7名
 - ・初任期保健師等事例検討会助言
 - 令和3年9月17日（金） 高岡厚生センター 参加者：18名
 - カ 人材育成
 - ・難病患者支援者（保健師）研修会
 - 令和3年12月22日（水） サンシップとやま 参加者16名
 - 講義Ⅰ「神経難病患者の特性」
 - 講師 富山大学附属病院 脳神経内科 助教 温井 孝昌 氏
 - 講義Ⅱ「在宅難病患者支援の現状と課題」
 - 講師 光風会訪問看護ステーション 管理者 小原 留美 氏
 - ・難病患者等ホームヘルパー養成研修
 - 令和4年2月3日（木） オンライン 参加者：14名
 - 講義Ⅰ「難病に関する基礎知識～神経難病の理解～」
 - 講師 皮膚科神経内科白崎医院 副院長 白崎 弘恵 氏
 - 講義Ⅱ「コミュニケーション障害のある難病患者の支援」
 - 講師 NPO法人言語・生活サポート富山 代表 西田 勇人 氏
 - 事例検討「在宅難病患者の支援の実際」
 - アドバイザー 富山県ホームヘルパー協議会 会長 手塚 裕子 氏
 - 講義Ⅲ「在宅難病患者の心理及び家族の理解」家族の立場から
 - 講師 日本ALS協会富山県支部 事務局長 織田 昌代 氏
- ③ 若年性認知症相談・支援センター事業
- ア 若年性認知症の人・家族等に対する個別相談、就労支援
 - ・相談支援業務 実人数48名、延人数336名
 - ・ピアサポーターによる相談 1回 相談者：家族2名
 - イ 支援者のための若年性認知症研修会の開催
 - ・令和3年8月25日（水） サンシップとやま 参加者：45名
 - 講義Ⅰ「若年性認知症について」
 - 講師 富山市民病院 精神デイケア科 部長 木戸 幹雄 氏
 - 講義Ⅱ「若年性認知症者の自立支援の試みについて」
 - 講師 NPO法人 むげん 理事長 門田 晋 氏
 - ウ 医療・介護・福祉・雇用関係者とのネットワーク会議開催
 - ・令和3年12月16日（木） サンシップとやま 出席者：32名
 - 実践報告・意見交換「若年性認知症の人の社会参加の場を考える」
 - 報告者 介護支援専門員・認知症認定看護師・就労継続支援事業所施設長
 - 助言者 全国若年性認知症支援センター 室長 山口 喜樹 氏（オンライン参加）
 - エ 若年性認知症の本人と家族の交流会（土曜サロン） サンシップとやま
 - ・令和3年5月22日（土） 参加者：9名
 - ・令和3年7月17日（土） 参加者：10名

- ・令和3年11月20日(土) 参加者:9名

オ ①医療連携協議会

- ・令和3年6月 高岡医療圏認知症疾患医療連携協議会 文書
- ・令和3年6月25日(金) にかわ認知症疾患医療連携協議会 オンライン
- ・令和4年2月 北陸病院認知症疾患医療連携協議会 文書

②事業所等との連携

ケア会議出席:4回、文書/オンライン会議:2回

カ 研修研究活動

- ・支援コーディネーター研修(初任者・フォローアップ)2回 オンライン参加
- ・企業向け認知症研修 参加
- ・VRを活用した認知症対応力向上研修 参加
- ・第16回大府センター認知症フォーラム オンライン参加

キ 啓発普及活動

- ・「富山県若年性認知症相談・支援センター活動だより」の発行
第4号 1,800部 関係機関へ配布
- ・「若年性認知症企業向けパンフレット」の発行
部数 4,400部 損保ジャパンへ配布
- ・「相談・支援センターリーフレット」の発行
部数 4,240部 郵便局へ配布

④ がん総合相談支援センター事業

ア がん患者・家族等に対する個別相談、就労支援

- ・相談支援業務 実人数 266名、延人数 844名

イ がんピアサポーター養成講座

- ・養成講座9回 受講者:12名 修了者:12名

第1回	令和3年7月10日(土)	ピアサポーターについて	参加者:12名
第2回	令和3年8月7日(土)	ピアサポートとは何か	参加者:11名
第3回	令和3年10月2日(土)	子宮がんに関する基礎知識、がん と就労	参加者:12名
第4回	令和3年11月6日(土)	肺がんの基礎知識、化学療法と看 護	参加者:8名
第5回	令和3年12月12日(日)	胃・大腸がんについて、形成外科 とは乳がん・がん術後の再建	参加者:10名
第6回	令和3年12月18日(土)	身につけておきたい コミュニケーションスキル	参加者:12名
第7回	令和4年1月15日(土)	模擬交流サロン	参加者:10名
第8回	令和4年2月26日(土)	がん患者さんへのサポート体制	参加者:11名
第9回	令和4年2月26日(土)	がんピアサポート活動	参加者:11名

ウ がんピアサポート活動

- ・がん患者・家族等の交流サロン 毎月第4土曜日 開催11回 参加者延べ112名
- ・グリーンケアの会 6回 参加者延べ38名
- ・AYA世代の交流サロン 4回 参加者延べ16名

・県内がん診療連携拠点病院等でのピアサポート活動

黒部市民病院	4回	富山県立中央病院	5回	富山大学附属病院	2回
厚生連高岡病院	0回	市立砺波総合病院	1回	富山赤十字病院	4回
高岡市民病院	2回	富山市民病院	1回	済生会高岡病院	5回
富山労災病院	3回	厚生連滑川病院	2回		計 29回

・「がん教育」の講師

小学校（2校）、高等学校（1校）

県立大学看護学部、県立いずみ高等学校看護専攻科出前授業

緩和ケア合同検討会

がん予防に関する研修会、キャリアネットワーク研修会

にピアサポーターを派遣

エ がんピアサポート活動支援

・がんピアサポーターフォローアップ研修会

第1回 令和3年5月15日（土） サンシップとやま 参加者：32名

がん総合相談支援センター事業、令和3年度がんピアサポート活動について

第2回 令和3年7月3日（土） サンシップとやま 参加者：36名

講義「レジリエンスと自分理念」

講師 くれよんクリニック 院長 桶口 史篤 氏

第3回 令和3年11月6日（土） サンシップとやま 参加者：31名

講義「よりよいコミュニケーションのヒントⅡ～がんピアサポーターとして～」

講師 市立砺波総合病院 臨床心理士 公認心理師 広田 千織 氏

第4回 令和4年3月5日（土） サンシップとやま 参加者：33名

体験発表「がんピアサポート活動を通して得たこと」

講義「がんリハビリテーションについて」

講師 富山県立中央病院 がん看護専門看護師 加藤 麻衣 氏

オ 小児・AYA世代のがん講演会の開催

・令和3年10月17日（土） サンシップとやま 参加者：54名

・シンポジウム

テーマ「一緒に知ろう 小児・AYA世代のがんのこと ～情報は生きる力～」

コーディネーター 富山大学附属病院小児総合内科 診療教授 野村 恵子 氏

シンポジスト 富山県立中央病院 乳がん看護認定看護師 嶋倉 裕美 氏

富山大学附属病院 看護師長 倉田 典子 氏

富山産業保健総合支援センター 溝口 里美 氏

NPO法人がんノート代表理事 岸田 徹 氏

・サポートブース 医療用ウィッグ、スキンケア用品紹介

カ がん診療連携拠点病院相談員との連携（情報交換会・研修会）

（情報交換会）

第1回 令和3年10月22日（金） オンライン 参加者：26名

第2回 令和4年3月9日（水） オンライン 参加者：30名

(研修会)

第1回 令和3年11月27日(土) オンライン

講義「今だからこそ。つなぎ、支えあう、がん相談を」

講師 九州大学人間環境学府 人間共生システム専攻

医療ソーシャルワーカー 橘 直子 氏

キ 情報提供：図書貸出 4冊 ホームページの更新

ク 地域支援 講義・講演：3回、会議出席：オンライン会議 3回

2 制度の狭間に対応した新たなサービス・活動の開発

(1) 地域の特性や本人の強みを活かした支援の推進

① コミュニティソーシャルワーク研修

ア 地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク研修

前期：令和3年10月14日(木)～15日(金)

後期：令和3年12月9日(木)～10日(金)

パレブラン高志会館 修了者：31名

講師 富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策 氏

富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏

富山国際大学子ども育成学部 教授 相山 馨 氏

イ コミュニティソーシャルワーク実践者フォローアップ研修

令和4年2月22日(火) サンシップとやま 参加者：17名

講師 富山国際大学子ども育成学部 教授 村上 満 氏

養成研修修了者各自の実践事例を共有し、グループ討議と個人ワークを通して
今後の課題や必要な取り組み等について検討し、講師から助言を仰いだ

② 市町村社協活動強化費助成事業

市町村地域福祉活動計画等の策定支援、市町村社協の総合力強化の取組み、地域生活課題
解決に向けた資源開発等のための取組みへの支援

- ・地域福祉活動計画等策定事業 4市社協(魚津市・氷見市・滑川市・射水市)へ助成
- ・市町村社協総合力強化事業 2市町村社協(黒部市・上市町)へ助成

(2) 地域における自立生活への支援

障害者が地域でより自立した生活ができるよう、「富山県工賃向上支援計画」に基づき、県
内の障害者就労支援事業所で働く障害者の工賃水準の向上を図るための各事業所における具
体的な取り組みの推進を支援

① 工賃向上支援研修の開催

「事業・支援の骨格づくり」(事例研究)

オンライン 令和3年8月11日(水) 参加者：30名 後日動画視聴回数：16回

「自主製品技術指導」(ワークショップ)

オンライン 令和3年9月10日(金) 参加者：29名 後日動画視聴回数：41回

「経営マネジメント講座」(実践講座)

オンライン 令和3年10月5日(火) 参加者：49名 後日動画視聴回数：29回

「経営マネジメント講座」（基礎講座）

オンライン 令和3年11月2日(火) 参加者：30名 後日動画視聴回数：9回

「地域産業連携型福祉の実践」（事例研究）

オンライン 令和3年12月3日(金) 参加者：35名 後日動画視聴回数：6回

② 共同事業の強化

共同事業ネットワーク構築事業（共同受注の窓口設置）

③ 「工賃引上げ計画」作成・実行サポートコンサルタント派遣事業

新規コンサルタント派遣を希望する事業所1か所

④ 専門技術者受入支援事業

事業所が希望する専門技術者の派遣費用を助成（5事業所）

⑤ 農福連携マッチング事業

農作業受委託における農業経営体と事業所とのマッチング等を実施する農福連携コーディネーターを配置

⑥ 農福連携推進セミナー開催

農業者に対し、農福連携についての理解を深め、農業分野における障害者の就労を促進するための普及啓発を目的とするセミナーを開催

3 その人らしい生き方を支援する権利擁護の推進

(1) 身近な地域における権利擁護相談支援の推進

① 日常生活自立支援事業を全市町村で実施

相談件数：21,373件、契約締結件数：新規81件

実利用件数：498件(令和3年度末現在)

ア 契約締結審査会の開催

- ・ 第1回 令和3年5月14日(金)
- ・ 第2回 令和3年6月11日(金)
- ・ 第3回 令和3年7月9日(金)
- ・ 第4回 令和3年10月8日(金)
- ・ 第5回 令和3年11月5日(金)
- ・ 第6回 令和3年12月3日(金)
- ・ 第7回 令和4年1月7日(金)
- ・ 第8回 令和4年2月4日(金)
- ・ 第9回 令和4年3月4日(金)

・ 審査案件20件、日常生活自立支援事業利用者の支援に関する助言、契約内容の報告、日常生活自立支援事業報告、運営適正化委員会からの指摘事項に関する対応報告など

イ 生活支援員研修の開催

- ・ 生活支援員基礎研修会の開催

令和3年6月15日(火) サンシップとやま 他 参加者：43名

・ 生活支援員ステップアップ研修会の開催

令和3年10月29日（金） ボルフアートとやま 他 参加者：61名

講義 「精神障がいのある人との関わり、生活のしづらさの理解と支援」

講師 愛知淑徳大学 福祉貢献学部 学部長 瀧 誠 氏

ウ 専門員研修の開催

令和3年11月16日（火） サンシップとやま 参加者：11名

テーマ「あなたの問診（アセスメント）できていますか？

～個に効く！地域に効く！処方箋とは～」

講師 合同会社HUGKUMI 小島 寛 氏

エ 広報・啓発、調査研究の実施

・ パンフレットの配布

- ・ 富山県社会福祉士会 ぱあとなあ富山との共催により、「高齢者・障がいの権利擁護のための出前講座」の開催（3か所）

- ・ 全市町村社協を訪問し、利用者の状況確認、預金通帳及び関係書類の確認、事業に関する問題点・課題について調査実施

オ 成年後見制度利用促進研修会の開催

令和3年11月25日（木） オンライン 参加者：32名

講義「成年後見制度利用促進について」

講師 高岡法科大学 専任講師 渡部 朗子 氏

事例発表「呉西地区成年後見センターの役割」

事例発表者 呉西地区成年後見センター 山本 幸恵 氏

【推進項目2】

住民が地域福祉活動に主体的に参加するための土壌づくり

地域住民の主体的な地域福祉活動への参加なくしては地域福祉の推進はないことから、住民の地域活動への参加を促すため、幼いころから福祉等へ触れ合う場を持ち、世代に応じた福祉教育を進め、生きがいを持って地域福祉活動に関われる土壌を作る必要があります。

そのために地域住民と共にボランティア活動や地域福祉活動を推進し、安心して暮らせる地域づくりに取り組みました。

1 地域住民の地域福祉活動やボランティア活動への参加促進

(1) ボランティアセンターの機能強化と市民活動との連携・協働への支援

① ボランティア活動拠点の整備

ア ボランティア交流サロンの使用状況（令和4年3月末現在）

利用団体数 567 団体、利用者数 1,835 名

イ ボランティアワークルームの利用状況

利用団体数 284 団体

② 市町村ボランティアセンター活動事業

地域課題、生活課題に対応する地域住民、ボランティアの先駆的、自主的な活動を促進するため、ボランティア活動の一層の振興を図り、市町村社協に助成した。

（ボランティア養成・研修事業、広報・啓発事業、災害救援ボランティア支援事業、調査・研究事業、ボランティアセンター運営事業 15 市町村 6,167 千円助成）

③ ボランティア活動養成研修事業の実施

ボランティアコーディネーター等養成研修

令和3年10月27日（水） オンライン 参加者：21名

講義・ワーク

「ボランティア活動の特性」

「ボランティア活動の強み・弱み」

「『なぜ、ボランティア活動を続けるのか、やめてしまうのか』」

「ボランティアマネジメントの必要性と業務の流れ」

講師 NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会

代表理事 唐木 理恵子 氏

④ ボランティア活動コーディネーター設置事業

市町村ボランティア活動コーディネーターの設置助成（15 市町村 22 名分）

⑤ 県ボランティアセンターの運営

・ 運営委員会の開催 年2回（10月、2月）

・ 関係会議及び県内外研修会等に参加及び講師出向（全国社会福祉協議会、ブロック社協職員会議、研修会、福祉関係学会、市町村社協の研修等、オンライン含む）

(2) 福祉のまちづくりの視点による市民活動団体等との連携・協働

① ボランティア活動の広報、啓発

ア ボランティア情報の提供

- ・ ボランティア情報誌の発行

広報誌「福祉とやま」（奇数月に各11,000部発行）の中に、ボランティアグループ・NPO団体や助成金情報等関係の記事を掲載

配布先：市町村社協、市町村行政、県内福祉施設、小中高校、図書館・公民館等、教育施設等

- ・ マスコミ各社、関係機関等に毎週1回ボランティア情報を提供、県社協ホームページにボランティア情報等を掲載

イ ボランティアガイド作成・配布

ボランティア活動メニュー等を記載したハンドブックを作成するとともに、相談窓口を設置配布、PDFデータを県社協ホームページに掲載

② 「ボランティア活動強調月間事業」の実施協力

県内各市町村社協がボランティアフェスティバル等の開催

③ スキル活用社会貢献セミナー開催事業

スキル活用社会貢献セミナー

令和4年3月12日（土） オンライン 参加者：22名

講義『企業・社員のボランティア活動推進について』

講師 NPO法人二枚目の名刺 廣 優樹 氏

④ ボランティアグループ活性化等発掘支援事業

ボランティアグループ、NPO団体の活動の立ち上がり支援並びに子育て支援活動のボランティア団体支援のための助成を行った。

設立後、間もないボランティアグループ 5団体 801千円助成

子育て支援活動のボランティアグループ 6団体 651千円助成

⑤ 商品寄贈による社会福祉貢献活動に関する協定の締結

令和4年2月17日（木）

株式会社セブンーイレブン・ジャパン、富山県と本会は、セブンーイレブン店舗での改装時などに発生する在庫商品の一部について、支援を必要とする個人・世帯やボランティア・NPO法人等の福祉活動団体に提供することに関する協定書を締結した。

2 子どもから大人までの幅広い世代への福祉教育の推進

(1) 福祉教育・ボランティア学習の推進

① 福祉教育地域指定推進事業

学校と地域、市町村ボランティアセンター等が企画段階から協働し、地域の社会資源を活かした福祉教育・ボランティア体験学習を実施するため、13市町村社協（13か所）を指定

② 福祉教育サポーター養成確保事業

身近な地域（地元）で、多様な団体、学校、地域が協働で取り組めるよう「福祉教育」に取り組む「福祉教育サポーター」の養成確保事業を立山町社協で実施した。

③ 高校生介護等体験特別事業

県立桜井高校と県立氷見高校の2校の指定校において、介護体験、ボランティア活動等を行った。

④ 教員免許法の特例に基づく「介護等体験」支援事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、富山県内の施設等での受入れ調整を原則中止した。

⑤ 富山県福祉教育セミナーの開催

令和3年8月19日（木） オンライン 参加者：25名

「福祉教育実践から学ぶ～地域（地元）で福祉教育を推進するための取り組み～」
活動報告

・『あなたも私も同じ「ひと」～福祉教育から始めるやさしいまちづくり～』

杉野脳神経外科病院医療ソーシャルワーカー 高崎 彩香 氏

・『福祉教育実践から学ぶ 滑川市社会福祉協議会の取り組み』

社会福祉法人滑川市社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア係主事 野田 真弘 氏
基調講演「共生文化を創造し享受する福祉教育ーコロナ禍での効果的なプログラムづくり」

講師 日本社会事業大学 教授 田村 真広 氏

3 住民と専門職等との協働による地域福祉活動の推進

(1) ケアネット活動による住民と専門職との協働による個別支援と地域支援の推進

① 市町村社協のケアネット活動展開時における専門職等との連携強化の推進

(2) 地域における住民と専門職の連携による活動の展開支援

(3) 地区社協の強化を目指した市町村社協への支援

① 市町村社協地域福祉活動計画策定時における地域住民と専門職の連携を図る地区社協強化への支援

4 高齢者の社会参加と地域福祉活動への支援

(1) 高齢者の生きがいづくりの推進

① 「健康と長寿の祭典」開催事業

大会長表彰を実施（式典、講演、展示等は中止）

② 「全国健康福祉祭（ねんりんピック）」参加事業

県内予選会の開催（11種目、合計907名参加）（岐阜大会、ねんりん美術展は中止）

③ 情報誌(V I T A) 発行事業

中高年向け情報誌「V I T A (ビタ)」の発行(年4回、各1,800部)

④ いきいき長寿大学開催事業

ア すこやか活動講座(富山会場109名、高岡会場74名、合計183名参加)

令和3年6月~4年2月 各会場6回 合計12回

内容:口の健康、魚食で元気、遺言書預かり制度、内臓脂肪撃退、上杉謙信、社会情勢

イ いきいき脳トレリーダー養成講座(専門的実践講座)

令和3年9月~12月 魚津市 7回コース 19名参加、うち18名修了

内容:脳トレニングの問題づくり、体験活動の進め方、レクリエーション、

ふれあい・いきいきサロンでの体験実習、「脳鍛錬倶楽部魚津」設立

ウ 脳トレ問題集の発行(県内12脳トレクラブから問題提供、4回、計28,900部)

⑤ いきいき友の会事業の運営

会員数(令和4年3月末現在) 個人4,053名、法人・団体34

ア 個人会員サービス提供事業

ア) 情報誌発行事業

情報誌「V I T A」の発行(年4回、計16,900部を会員に送付)

別冊イベントニュースの発行(年4回、計16,900部を会員に送付)

イ) サービスカード発行事業

会員証による割引サービスの実施(協力店112店舗、一覧を6,800部発行)

ウ) 催事割引事業

コンサート等のチケット割引サービス(22公演、592名利用)

エ) V I T A旅行会開催事業

9企画を催行、56名参加

オ) 会員交流会事業

脳トレサロン(脳トレクラブによる運営 サンシップとやま 10回 延187名参加)

自然観察会6回、83名参加(小矢部9、岩瀬17、砺波25、立山10、大沢野14、小杉8)

美術鑑賞講座5回、46名参加

パソコン教室(年賀状)2回、13名参加

カ) 生きがいづくり普及推進員事業(会員による自主企画事業)

委員11名(うち新規2名)、意見交換会1回

こけ玉づくり30名、ミニ門松づくり26名

イ 法人会員サービス提供事業

35法人等に対し、年会費相当分の個人会員と同様の特典を付与。

情報誌「V I T A」に企業名を掲載

ウ 会員組織の強化

既存V I T Aクラブ26の支援(クラブ一覧の発行、活動助成金の交付)

クラブ主催の新規会員体験講座の開催(1クラブ、9名参加)

(2) 高齢者の社会参加活動の促進

① シニアタレント社会活動事業

ア 養成研修会の開催

令和4年2月15日(火) サンシップとやま 29名参加(うち新規6名)

(講師:富山県レクリエーション協会 大橋 和子 氏、マジシャン アレマー玉井 氏)

イ 登録及び紹介

シニアタレント234名(語り部含む)、シニアタレントグループ49

ウ シニアタレント・語り部バンクニュースの発行(年4回、計16,900部)

エ 連絡協議会の開催(委員9名、12回)

オ 世代間交流会(講師・出演:シニアタレント)への助成 6件

② 元気高齢者の仲間づくり支援事業

ア サークルの登録及び支援

元気高齢者サークル22、ねんりん健康運動推進クラブ33、合計55

イ 情報提供及び相談業務(相談員1名配置、相談件数71件)

ウ 県内のシニアサークルの紹介

ホームページに600サークルを掲載、サークル一覧の発行(年4回、計16,900部)

エ 体験教室及び世代間交流会等の開催(各競技団体等へ助成)

4種目、4回実施、計184名参加

オ 体験教室及び世代間交流会の開催(いきいき富山スポーツ吹矢、40名参加)

③ エイジレス社会活動推進事業

ア エイジレス社会リーダー養成塾事業

地域包括ケアシステム構築に向け、生活支援や介護予防等の活動を行う団体・グループを結成するなど、地域社会の担い手として活躍するリーダーを養成した。

ア) エイジレス社会リーダー養成塾の開催

7月から12月まで計7回 富山県民会館 卒塾生14名

エイジレス社会づくりの社会的背景やニーズ、具体的な活動手法に係る講義など

(講師:堀田 力 氏、田尻 佳史 氏ほか)

イ) エイジレス社会リーダー養成塾 活動実践講座の開催

卒塾生が活動を始めるうえで課題となっている協力者の募集方法などについて学び、意見の交換や相談できる機会を提供した。

1月から2月まで計3回 富山県民会館 参加者25名

組織運営入門、グループワーク、今後の取り組み発表など(講師:宮本 諭 氏)

イ 先進的な取り組みの顕彰(12個人、3団体)

他の参考、模範となる取り組み事例を顕彰し、社会活動への意識の高揚と啓発を図った。

【推進項目3】

災害時に対応できる地域づくりの推進

近年、頻繁に起きる災害に対して、地域福祉の観点からどのように住民を支援していくかが、大きな課題です。災害が起きて地域で支援する力が発揮できる安心した地域づくりが必要になります。

地域住民の主体性を大切にし、行政・社協・民間（多様な団体）・企業が連携を取りながら、日常的なつながりを生かした災害時にも強い地域づくりに努めました。

1 日常的なつながりを基盤とした要援護者への支援体制の充実

(1) 災害時の要援護者支援・福祉救援の取り組みの充実

県民に幅広く、災害救援ボランティア活動の普及を図るため講演会及び登録ボランティアコーディネーター・リーダーの県防災訓練への参加を実施

① 災害救援ボランティア訓練事業

災害救援ボランティア講演会

令和4年2月20日（日） 富山県民会館・オンライン 参加者：52名

活動報告「令和元年東日本台風災害 長野市社会福祉協議会の支援について」

活動報告者 社会福祉法人長野市社会福祉協議会 長野市生活支援・地域ささえあいセンター 主任生活支援相談員 小野 貴規 氏

シンポジスト

長野市社会福祉協議会 小野 貴規 氏

合同会社 HUGKUMI 代表社員/NPO法人明日育常務理事・事務局長 長井 一弘 氏

社会福祉法人賛育会理事/元 富山市災害ボランティアネットワーク会議会長

島田 茂 氏

コーディネーター

富山県社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア振興課 課長 水井 勤

(2) 災害時のボランティア活動の展開支援

① 災害救援ボランティアコーディネーター・リーダー養成研修会の開催及び登録

※新型コロナウイルス感染症拡大のため対面の養成研修ではなく、オンラインでの既登録者向けフォローアップ研修を開催

第1回 令和3年10月31日（日） オンライン 参加者：23名

講義「コロナ禍における災害救援ボランティアの受入れとボランティアセンターの運営について」

講義「ICTを活用した情報発信について」

講師 NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク

理事長 李 仁鉄 氏

第2回 令和3年11月9日（火） サンシップとやま 参加者：6名

講義・ワーク

講師 富山県社会福祉協議会

※令和4年3月末現在、233名の災害救援ボランティアコーディネーター・リーダーが登録

2 災害時における福祉施設、専門職団体等との連携・協働支援体制の構築

(1) 専門職等関係機関・団体との連携・協働

① 市町村社協災害ネットワーク推進事業

災害時における県社協と県内社協の緊急連絡網及びメールによる緊急通報システムを整備

② 災害福祉広域支援事業

富山県内外における災害時の福祉広域支援ネットワークの連携を図り、「富山県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」の開催と、災害派遣福祉チーム員（富山DWA T）の養成及び登録を行った。

また、富山DWA Tの派遣のための備品等を整備した。

- ・「富山県災害福祉広域支援ネットワーク協議会」の開催

令和4年3月30日（水） サンシップとやま 出席者：21名

- ・災害派遣福祉チーム員養成研修及び登録

【基礎研修】

・富山会場 令和3年5月31日（月） オンライン 受講者：7名

・高岡会場 令和3年6月1日（火） オンライン 受講者：7名

【実地研修】

令和4年1月11日（火） 県民会館 受講者：26名

【登録者】上記研修受講修了者26名を富山DWA Tとして登録（現登録者113名）

- ・災害派遣福祉チーム員派遣時の新型コロナウイルス感染予防対策物資等の整備

③ 災害時における災害救援ボランティア活動等の被災地支援活動に関する協定の締結

令和3年7月12日（月）

県・公益社団法人日本青年会議所北陸信越地区富山ブロック協議会（富山J C）との間で、県内で大規模な災害が発生した際に富山J Cが県災害救援ボランティア本部に対する人的支援・資機材の調達・情報伝達等を行うことに関する協定を締結した。

【推進項目4】

地域ニーズへの対応力向上と効果的・効率的なサービス提供に向けた経営支援

社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人は地域福祉推進の重要な拠点として、福祉ニーズに対応する機能をより一層発揮することが求められています。

質の高い福祉サービスを効果的・効率的に提供できる体制等を整備するため、各法人が自主的に行っている法人経営上の取り組みに対し、必要な事項等について助言、指導を行いました。

1 福祉施設・事業所の経営マネジメント力向上への支援

(1) 社会福祉法人等の自立的経営と経営基盤の強化

① 福祉施設経営指導の推進

ア 社会福祉施設経営相談（相談件数 120 件）

社会福祉施設経営相談室に専任及び兼任経営相談員 2 名、専門経営指導員（公認会計士、社会保険労務士、弁護士）3 名を配置し、施設経営に対する指導・助言を実施

イ 「施設経営情報」の発行等による情報提供

ウ 福祉施設経営指導事業連絡協議会の開催

（構成者：県厚生部 5 課、富山市福祉保健部、県経営協役員、経営指導員等）

令和 4 年 2 月 25 日（金） サンシップとやま・オンライン併用

協議事項・最近の福祉施策の動き

- ・令和 3 年度指導監査実施状況について
- ・令和 3 年度社会福祉施設経営指導事業の状況について
- ・意見交換

エ 富山県社会福祉法人経営者協議会との連携による労務管理、経理事務、法律問題等に関する研修機会の提供及び集団指導の実施

・社会福祉法人経理事務研修

令和 3 年 10 月 8 日（金） 富山県市町村会館 参加者：63 名

講義 「会計基準の概要・会計処理の留意事項等」

講師 日本クレアス経営税理士法人富山本部

日本クレアスコンサルティング株式会社 代表取締役社長

公認会計士・税理士 中村 厚 氏（専門経営指導員）

・社会福祉法人労務管理研修

令和 3 年 12 月 10 日（金） 富山県市町村会館 参加者：64 名

講義 ①「やさしい労務管理の手引き」

②「適切な労務管理のポイント」

講師 梅原社会保険労務士事務所

社会保険労務士 梅原 修一 氏（専門経営指導員）

・社会福祉法人法律問題研修

令和 4 年 2 月 16 日（水） オンライン開催 参加者：15 名

講義 ①「女性労働者への配慮」

②「最近の社会福祉施設内事故の紹介」

講師 大坪法律事務所 弁護士 大坪 健 氏（専門経営指導員）

② 訪問介護緊急時事業支援体制整備事業

訪問介護事業所において新型コロナウイルスの感染者が発生し、単独事業所での運営が困難になった場合、応援職員を派遣し、サービス提供の継続に協力する事業所のとりまとめを行った。

(2) 富山県福祉施設支援資金の貸付及び償還管理

民間社会福祉施設を支援するため、整備費・運営費を貸付

経済情勢等の変化に応じ、緊急かつ特に融資が必要と認められる場合に実施する特別運営費の貸付について、原油の高騰による暖房費やガソリン代等による運営費への影響緩和に要する資金として令和3年12月14日～令和4年3月末日までを受付期間として実施

貸付審査会の開催（4回）

貸付件数：3件（うち特別運営費1件）

貸付額：26,400千円（令和3年度末貸付実績 26件、195,726千円）

2 福祉・介護機器の導入・活用支援

(1) ICT及び福祉・介護機器の活用支援

福祉施設・事業所が、質の高い福祉サービスを効果的・効率的に提供することを支援するため、ICTや介護ロボット等を含む福祉・介護機器の導入・活用に関する情報提供を行う。

① 介護ロボット活用推進研修

令和3年6月19日（土） サンシップとやま 参加者：22名
講師 NTTデータ経営研究所 足立 圭司 氏

② 見守り・コミュニケーション介護ロボット研修会の開催

令和3年9月27日（月） サンシップとやま 参加者：38名
講師 富山大学工学部 中嶋 一樹 氏

③ 移乗支援機器活用推進研修会の開催

令和3年11月25日（木） サンシップとやま 参加者：29名
講師 地域リハビリ支援室・タムラ 代表 田村 茂 氏

④ 介護ロボット活用推進シリーズ研修

令和3年12月22日（水）・23日（木） サンシップとやま 参加者：32名
講師 NTTデータ経営研究所 足立 圭司 氏

【推進項目5】

福祉人材の確保・定着、育成

福祉・介護ニーズに対応する福祉人材について、質・量の両面での確保・定着、さらには育成が重要となっています。福祉施設や専門職団体・養成施設などと連携・協働のうえ、福祉人材の育成に効果的な研修事業を実施したほか、キャリアパスの構築、福祉・介護機器の活用による福祉職場の活性化や働きがいのある福祉職場づくりなど、その魅力を広く発信するための取り組みなどを行いました。

1 福祉職場の魅力の発信と、新たな分野での福祉人材の掘り起し

(1) 福祉の人材確保・マッチング支援の強化と人材定着を支援する取り組みの推進

① 福祉人材無料職業紹介事業の充実

ア 全社協・中央福祉人材センターとともに運営・管理を行う「福祉人材情報システム」(C O O Lシステム)及びホームページ「福祉のお仕事」を活用した求人・求職登録の促進と福祉の職場・資格、労働市場の動向等に関する情報の提供(保育分野を含む)

- ・相談件数 3,121件(求人1,263件、求職1,858件)(前年度末3,198件)
- ・登録求人件数 2,477件(前年度末2,423件)
- ・登録求人数 4,848人(前年度末4,909人)
- ・登録求職者数 791人(一般432人、学生359人)(前年度末756人)
- ・職場見学者数 160人(前年度末126人)
- ・職場体験者数 7人(前年度末11人)
- ・職場体験受入事業所数 194か所(前年度末276か所)
- ・紹介者数 168人(前年度末183人)
- ・採用者数 154人(一般56人、学生98人)(前年度末170人)

イ 職業訓練受講者へ求職登録の働きかけ

- ・139名 内訳：初任者研修7回79名、実務者研修1回27名、入門的研修2回33名

ウ 既存の広報媒体を利用した啓発・案内

- ・「福祉とやま」による事業内容や行事等の記事の掲載(6回)
- ・県社協及び「福祉のお仕事」ホームページによる事業所一覧、行事等の情報を掲載
- ・C O O Lシステム 求職者マイページによる行事等の案内をメール配信
- ・市町村広報誌への掲載(ハローワーク出張相談実施日)7市町村
(魚津市、氷見市、黒部市、砺波市、射水市、舟橋村、立山町)

エ 離職介護人材・保育士届出制度の活用推進

離職した介護人材や保育士の当センターへの届出を広く周知し、再就職準備金の活用等を通じて就職を支援

ポスター、リーフレットの配布、「福祉とやま」への掲載等

- ・新規届出件数 34件(介護20件、保育14件)
- ・有効届出件数 631件(介護250件、保育381件)

② 啓発・広報活動の強化

利用促進用リーフレットの配布(求職者・学生、ハローワーク等)

③ 福祉人材確保緊急プロジェクトの推進

ア 福祉職場説明会の開催

求人事業所と求職者が一堂に会し、様々な施設の経営状況・仕事内容・待遇等を直接確認できる機会の提供

- ・7月18日(日)【福祉・介護】 富山国際会議場 参加者121名 参加法人83法人
- ・7月25日(日)【児童・保育】 富山国際会議場 参加者141名 参加法人53法人
- ・11月24日(水) ハローワーク砺波との合同開催 砺波農村環境改善センター
参加者26名 参加法人6法人

イ 富山の介護職員募集案内冊子作成・配布事業

県内介護施設等の求人情報を掲載した冊子を作成、ハローワーク・書店等で配布

掲載募集対象：介護職員処遇改善加算届出法人 566 法人

掲載法人：記事広告 53 法人、純広告 5 法人

作成部数：3,700 部

ウ 新任介護職員ネットワーク形成支援事業

離職率が高い就業後1～3年未満の新任介護職員を継続的にフォローすることにより、新任職員の早期離職防止・職場定着を図った。

i) 令和3年度福祉・介護職入職者合同激励会

9月に開催予定だった合同激励会に替え、県知事と県福祉人材確保対策会議会長の激励を動画で配信。

入職者代表の“初心”表明とがんばる介護職員被表彰者からのメッセージ集を配布。

ii) 介護職員フォローアップ研修

- ・介護技術編3回 参加者合計50名
- ・ストレスマネジメント編3回 参加者合計21名

エ 福祉・介護人材マッチング強化事業

キャリア支援専門員による相談体制とマッチング介護業務の強化

・同専門員を2名配置(介護福祉士)

・ハローワーク等との連携事業

	ハローワーク6か所(月1～2回) 合計103回
福祉の仕事相談コーナー	相談合計112件(前年度末128件) (高岡43、魚津25、砺波20、氷見9、滑川3、小矢部12)
	ハローワーク5か所 合計34回
介護の仕事就職支援セミナー	参加者合計199名(前年度末162名)(高岡11回28名、魚津11回42名、砺波12回77名、滑川11回48名、氷見3回4名)
はじめての福祉の仕事サロン	サンシップとやま 9回 参加者合計28名(前年度末24名)

・求人・求職者情報の提供

登録求職者向けに求人情報誌を毎月送付(12回、1,033部発行)

福祉人材情報システムを利用した事業所向けのスカウトサービス15件

④ 調査研究事業

ア 県内民間社会福祉事業所の人材不足の現状等を把握し、人材需給に対処する基礎資料とするアンケート調査の実施

10月、1,673事業所対象、回答997か所、回答率59.6%

内容：職員数、保有資格数、入職者数、離職者数、離職理由、必要人数、必要理由、職場環境、キャリアアップ、人材確保の問題点など

イ 富山県出身学生在学者調査を実施し、求職登録のあった学生に求人情報を提供

調査対象：東海・北陸・新潟・長野県ほか合計247校、在学者156人、登録者42人

ウ 富山県内学生調査

調査対象：県内養成7校、登録者317人

⑤ 保育士・保育所支援センター開設事業

共働き世帯の増加や育児休暇の定着により、人手のかかる0～2歳児の途中入所が増え、保育所の求人ニーズが高まっているため、有資格の未就業者の職場復帰や現役保育士の職場の定着を支援するためのセンターを開設し、相談や就職あっせん等を実施

ア センターの運営と啓発

i) 専門相談員の配置

・再就職支援コーディネーター1名（保育士）

ii) 啓発

・業務案内リーフレットの作成5,000部（保育所、ハローワーク等に送付）

・ポスターの作成300部（子育て支援センター、小児科医院、大規模店舗、県内外養成校等に送付）

イ 相談業務と就職あっせん

・相談件数 2,301件（求人1,268件、求職1,033件）（昨年度末2,538件）

・登録求人件数 1,232件（昨年度末1,107件）

・登録求人数 2,441人（2,214人）

・登録求職者数 285人（一般91人、学生194人）（昨年度末279人）

・スカウトサービス 指名件数1件、指名人数1人（昨年度末6人）

・職場見学者数 91人（昨年度末91人）

・職場体験者数 0人（昨年度末4人）

・紹介者数 117人（昨年度末128人）

・採用者数 109人（一般33人、学生76人）（昨年度末125人）

ウ 再就職支援研修会

i) 保育所（園）・認定こども園等における雇用管理と人材育成・定着セミナー

令和3年12月22日（水）・23日（木） サンシップとやま

参加者：理事長・園長等 21名

1日目 講義「保育所（園）・認定こども園等における雇用管理のポイント」

2日目 講義「人材育成・定着のポイント」

(2) 就労支援ネットワークづくり

① 人材確保相談事業

他機関の実施する職場説明会において、福祉職場・資格取得等に関する相談に応じたほか、養成施設・事業所等への訪問・相談等の実施

- ・富山市主催の介護職場の就職説明会 相談ブース出展 2 回 (7/28, 11/16)
- ・事業所訪問 訪問 11 か所 (内訳：職業訓練校 8 か所、事業所訪問 3 か所)

② 福祉人材確保緊急プロジェクトによる取り組み

福祉人材確保の取り組み等について協議

- ・10月 第1回ワーキンググループ (文書)
- ・2月18日 第2回ワーキンググループ (オンライン)
- ・3月28日 福祉人材確保対策会議 (高志会館)

③ 介護福祉士修学資金等貸付事業

介護福祉士等養成施設に在学する学生に対する修学資金の貸付け

- ア 介護福祉士等修学資金 申込 30 件、決定 30 件、累計 382 件
- 実務者研修枠 申込 6 件、決定 6 件、累計 36 件
- 内定制度 (令和 4 年度入学者) 申込 8 件、決定 7 件
- イ 離職介護人材就職準備金
介護業務に再就職する人に対する就職準備金の貸付け
申込 14 件、決定 13 件、累計 77 件
- 新 ウ 介護分野就職支援金
介護分野に初めて転職する人に対する就職準備金の貸付け
申込 18 件、決定 18 件、累計 18 件
- 新 エ 障害福祉分野就職支援金
障害分野に初めて転職する人に対する就職準備金の貸付け
申込 11 件、決定 11 件、累計 11 件
- 新 オ 福祉系高校修学資金
福祉系高校に在学する学生に対する修学資金の貸付け
申込 0 件

④ 保育支援貸付事業

ア 保育士修学資金

保育士等養成施設に在学する学生に対する修学資金の貸付け

決定 24 件、累計 55 件

内定制度 (令和 4 年度入学者) 申込 17 件、決定 10 件

イ 保育補助者雇上費

保育士の業務負担を軽減するために保育補助者を雇上げる費用を貸付け

申込 0 件、決定 0 件、累計 8 件

ウ 保育料の一部貸与

未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付け

申込 16 件、決定 16 件、累計 57 件

- エ 潜在保育士就職準備金
保育士として再就職する人に対する就職準備金の貸付け
申込 27 件、決定 27 件、累計 123 件

⑤ 児童養護施設退所者等貸付事業

児童養護施設を退所し就職した者への家賃貸付け、進学者への家賃・生活費貸付け、資格取得希望者への取得費用貸付け

- ア 生活支援費貸与 申込 0 件、決定 0 件、累計 2 件
イ 家賃支援費貸与 申込 0 件、決定 0 件、累計 2 件
ウ 資格取得支援費貸与 申込 0 件、決定 0 件、累計 5 件

(3) 福祉・介護職場のイメージアップ

① 福祉人材確保緊急プロジェクトによる取り組み

ア 高校生等の福祉の魅力体験バス教室

- ・富山会場① 令和 3 年 8 月 6 日（金）、富山市周辺の特養 5 か所 40 名
 - ・高岡会場① 令和 3 年 8 月 4 日（水）、高岡市周辺の特養 3 か所 26 名
- 合計 66 名（*新型コロナウイルス感染症拡大による中止 特養 5 か所 35 名）
- ・参加者進路先 3 年生 30 名中 福祉・医療分野への進学及び就職者は 27 名

イ 親子夏休み福祉の仕事バス教室

- ・東部会場 令和 3 年 7 月 28 日（水） 特養 2 か所 21 名
 - ・西部会場 令和 3 年 8 月 5 日（木） 特養 1 か所 21 名
- 合計 42 名

ウ 中学・高校への介護の出前講座（富山県介護福祉士会及び介護福祉士養成校に委託）

- ・中学校への出前講座 6～11 月 延べ 6 校 202 名受講
- ・高校への出前講座 7～2 月 延べ 11 校 354 名受講

エ がんばる介護職員応援事業

i) がんばる介護職員の表彰（通称：介護の中堅職員がんばりすと 2021）

福祉・介護の現場で新任職員の指導育成等で活躍している職員を表彰・紹介することにより、職員のモチベーションの向上と、介護の仕事に対するマイナスイメージの払拭、社会的評価の向上を推進

- ・対象 勤続 5 年以上 12 年未満、新人の指導役、介護福祉士、所定の研修修了者
- ・被表彰者 22 名（19 法人）（567 法人へ依頼）
- ・表彰式 令和 3 年 11 月 3 日（水・祝） ファボーレホール

ii) 被表彰者からのコメントを新聞紙面に掲載

期日 令和 3 年 11 月 3 日（水・祝）、北日本 2 頁、読売・富山全 5 段

iii) 啓発用小冊子の作成・配布

新聞紙面を再構成した小冊子を県内の全高校 1 年生等に配付

作成部数：12,200 部

iv) イメージアップ・テレビ CM の制作

ホームヘルパーの日編（8/4～10 7 日間）、民放 3 局、15 秒、165 本

介護の日編（10/27～11/2 7 日間）、民放 3 局、15 秒、165 本

放映終了後もウェブサイトで公開

v) 学生や若手職員へのPR活動支援（介護のがんばりすと）

ラジオ出演、他分野からの転職者への助言、合同入職式でのメッセージ等

オ 介護の日の啓発活動

介護を身近なものとしてとらえ、それぞれの立場で考えていくため、関係機関・団体等が連携して開催するイベント「介護の日フェスティバル」の企画に協力

・実行委員会への参加（構成：事業所団体、職能団体、養成校、行政など）

② 福祉・介護職場の魅力発信事業

マスメディア等を活用して福祉・介護職場の魅力を広く発信するため、取材福祉施設の選定を行った。

・KNBアトラクション「ジョブキッズとやま 2021」への出展施設の紹介

・ラジオ「でるラジ」への出演者の紹介

・ラジオ「とれたてワイド朝生」への出演者の紹介

（４）委員会等の開催

運営委員会（１回）

令和４年１月２７日（木） サンシップとやま

２ 研修実施や資格取得の促進を通じたキャリアパスの構築

（１）委員会等の開催

① 富山県福祉カレッジ研修カリキュラム検討分科会 令和４年１月１４日（金）

② 富山県介護機器普及事業運営分科会 令和４年１月２０日（木）

③ 富山県福祉カレッジ運営委員会 令和４年１月２７日（木）

（２）福祉カレッジ研修事業の実施

福祉人材の養成及び資質の向上を図るための研修を実施 受講者実人員 5,604名

① ソーシャルワーク研修

相談援助技術研修

② ケアワーク研修

福祉用具体験講座Ⅱ、新任職員介護技術実践サポート研修、新任職員指導者技術向上研修（排泄編・排泄技術編）、住宅改修事業者研修、腰痛予防推進研修（腰痛予防研修・フォローアップ研修・リフトリーダー養成研修）、腰痛予防指導者育成研修（基礎研修・フォローアップ研修）、腰痛予防対策取組み事例報告会、腰痛予防推進 [出前講座]、介護ロボット活用推進研修、富山型デイサービス職員研修（初級編・中級編・中間管理職編）、施設訪問中堅リーダー研修、介護職員リスクマネジメント研修、認知症ケア研修（初級編・応用編）、観察の視点を活かした介護職員記録研修、終末期ケア研修、虐待防止・権利擁護研修

③ 福祉職員キャリア支援研修・福祉サービス経営研修

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者研修、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員研修、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダー研修、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程管理職員研修、社会福祉法人セミナーⅠ・Ⅱ

④ 目的課題別研修

福祉用具体験講座Ⅰ（一般県民）、小・中・高生の介護体験講座、福祉用具・住宅改修研修、福祉用具プランナー研修、乳幼児保育研修、障害児保育研修、ハートフル保育普及研修会（初任者研修）、子育て家庭支援セミナー、新任職員接遇・コミュニケーション研修、地域防災対応力強化研修、ホームヘルパー技術向上研修、サービス提供責任者研修、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）、障害者（児）ホームヘルパー等養成研修、福祉サービス第三者評価評価調査者継続研修、富山型デイサービス起業家育成講座、介護支援専門員再研修、介護支援専門員実務研修、民生委員・児童委員研修、社会福祉法人監査指導担当者研修

（３）介護支援専門員実務研修受講試験事業

① 令和３年度富山県介護支援専門員実務研修受講試験の実施

試験実施日：令和３年１０月１０日（日）

試験会場：サンシップとやま、富山県農協会館

出願者数 582 名、受験者数 520 名、合格者数 133 名（合格率 25.6%）

3 福祉・介護機器活用による職場の活性化とスキルアップ

（１）効果的な福祉・介護機器の活用支援

① 福祉・介護機器の展示・相談、貸出、情報提供

ア 展示場・モデルルームでの展示及び相談体制の整備

展示品：699 点、来所者数：538 名、相談者数：288 名、相談件数：449 件

イ 適合評価を目的とした専門職への貸出事業の実施

貸出件数：21 件

ウ ホームページ及び広報誌への掲載による情報提供

② 福祉・介護機器の理解・活用促進に繋がる研修及びイベントの開催

ア 福祉用具活用講座Ⅰ（一般県民対象） 参加者：120 名（10 回）

イ 福祉用具活用講座Ⅱ（福祉関係者対象） 参加者：541 名（56 回）

ウ 小・中・高生の介護講座 参加者：940 名（16 回）

エ 新任職員介護技術実践サポート研修（福祉関係者対象） 参加者：141 名（5 回）

オ 新任職員指導者技術向上研修（排泄編・排泄技術編） 参加者：40 名

カ 福祉用具・アイデアコンクールの開催 応募作品数：153 点 受賞作品数：21 点、1 校

③ 住宅改修に関する相談事業の実施

福祉用具・住宅改修活用広域支援事業

ア 福祉用具・住宅改修支援連絡協議会の開催

令和４年１月１２日（水） サンシップとやま 出席者：12 名

- イ 専門相談員の登録（相談員の発掘と資質向上）
登録相談員：10名
- ウ 福祉用具・住宅改修の相談・充実
所内相談・出張相談総数：48件（延べ60件）
- エ 福祉用具・住宅改修に関わる関係者の資質の向上（研修等の実施）
 - ・福祉用具・住宅改修研修（基礎研修）
福祉用具・住宅改修に関する基礎知識の習得を目的として実施
令和3年5月17日（月）、24日（月）、31日（月）
サンシップとやま 受講者：35名
 - ・福祉用具・住宅改修研修（福祉用具研修）
利用者に適した福祉用具の選定や活用方法の習得を目的として実施
令和3年7月1日（木）、8月3日（火）、9月10日（金） サンシップとやま
受講者：50名
 - ・住宅改修事業者研修（基礎編）
住宅改修事業者を対象に福祉用具や住宅改修に関する知識の習得を目的として実施
<第1回>令和3年8月25日（水） サンシップとやま 受講者：15名
<第2回>令和3年9月1日（水） サンシップとやま 受講者：14名
 - ・住宅改修事業者研修（応用編）
住宅改修事業者を対象に、事例による住宅改修プランニングの演習を行う
令和3年9月8日（水） サンシップとやま 受講者：18名
- オ 福祉用具・住宅改修活用広域支援事業の広報（関係機関及び関係者）
 - ・福祉用具・住宅改修出張相談事例集の作成・配布
 - ・パンフレットの作成・配布
 - ・関係機関に対する相談ニーズ調査の実施

（2）福祉・介護機器を活用した介護技術研修の実施と指導者の育成支援

① 介護技術向上のための研修の実施

利用者の特性や能力に適した福祉・介護機器の選定を支援し、利用者・介助者双方にとって安全で安楽な介護の知識と技術の普及・定着を推進する。

- ア 新任職員介護技術実践サポート研修の実施
- イ 新任職員指導者技術向上研修の実施
- ウ 福祉用具・住宅改修研修の実施
- エ 福祉用具プランナー研修の実施

② 腰痛予防対策推進研修の実施

- ア 腰痛予防研修会

介護職員の腰痛予防のために必要な知識・技術を習得し、職場での腰痛予防対策を推進するための研修を実施

- ・第1回 令和3年6月15日（火）、6月16日（水） サンシップとやま 参加者：27名
- ・第2回 令和3年6月29日（火）、6月30日（水） サンシップとやま 参加者：27名

- イ 腰痛予防フォローアップ研修会

腰痛予防研修修了者のスキルアップを図るための研修を実施

令和3年6月29日（火） サンシップとやま 参加者：12名

ウ リフトリーダー養成研修会

介護職員の腰痛予防と利用者の安全な移乗のために、リフトを使用した介助方法を指導できる人材を養成するための研修を実施

- ・第1回 令和3年9月13日(月)、14日(火) サンシップとやま 参加者：10名
- ・第2回 令和3年9月13日(月)、15日(水) サンシップとやま 参加者：4名

エ 腰痛予防指導者育成研修会

福祉施設において、介護職員の腰痛予防対策が推進できるように、指導者を育成するための研修を実施

- ・基礎研修：施設利用者個々に対応できる介助技術と職員への指導方法の習得
 - <Aコース>令和3年7月5日(月)、7月15日(木)、7月29日(木)、8月5日(木)
サンシップとやま 受講者：13名
 - <Bコース>令和3年7月5日(月)、7月12日(月)、7月26日(月)、8月2日(月)
サンシップとやま 受講者：15名
- ・フォローアップ研修：基礎研修修了者を対象に、受講者の指導力を高める
令和3年9月2日(木)、9月6日(月)
受講者：26名

オ 腰痛予防取り組み事例報告会

腰痛予防の取り組みに関して、事例報告会や意見交換会を開催することで、他施設への腰痛予防対策の普及・定着を図るために実施

令和3年10月23日(土) サンシップとやま・オンライン 参加者：32名

特別講演

大手町リハビリテーション病院 認定作業療法士 松本 多正 氏

特別養護老人ホームつまま園 作業療法士 浜出 都 氏

報告者

特別養護老人ホームだいが苑 介護福祉士 高田 陽輔 氏

特別養護老人ホームソレイユ 介護福祉士 齋藤 正美 氏

カ 腰痛予防推進 [出前講座]

これから腰痛予防に取り組もうとする介護施設・事業所等へ講師が出向き、利用者の自立を引き出す介護技術を指導することにより、職員の腰痛予防意識の高揚や行動の変容の促進を目的に実施

新川ヴィーラ：令和3年9月16日(木) 参加者：8名

幸恵会 晴風荘：令和3年10月21日(木) 参加者：8名

特別養護老人ホームおあしす新川：令和3年12月2日(木) 参加者：15名

③ 腰痛予防対策推進施設の指定・支援

指定施設：(継続) 特別養護老人ホームきらら (南砺市)
特別養護老人ホームささづ苑 (富山市)
特別養護老人ホームソレイユ (富山市)
特別養護老人ホーム福寿園 (南砺市)
特別養護老人ホーム越野荘 (黒部市)
特別養護老人ホームほのぼの苑 (氷見市)
特別養護老人ホームあんの里 (魚津市)
特別養護老人ホームだいが苑 (高岡市)

介護老人保健施設城端うらら (南砺市)

介護老人保健施設みどり苑 (富山市)

特別養護老人ホーム七美ことぶき苑 (射水市)

特別養護老人ホームつまま園 (氷見市)

特別養護老人ホーム有磯苑 (朝日町)

【推進項目6】

利用者本位による福祉サービスの選択と福祉サービスの質の向上

家族形態・地域社会の変容に伴い福祉ニーズが多様化・複雑化する中、福祉サービス事業者には、「利用者本位」を基本とした質の高い福祉サービスの提供が求められています。

そのため、利用者の権利擁護を重視しながら、利用者・家族への適切な対応や地域の社会資源を活かしたサービス提供等がなされるよう、事業者における自己評価・外部評価の実施や広く住民等への情報公表を行いました。

1 福祉サービスの見える化と質の向上

(1) 福祉サービス第三者評価事業の実施

① 地域密着型サービスにかかる外部評価の実施

認知症対応型共同生活介護事業所 16件

② 福祉サービスにかかる第三者評価の実施

児童福祉施設（保育所） 4件

③ 福祉サービス評価・公表事業運営委員会の開催

第1回	令和3年4月23日（金）	サンシップとやま
第2回	令和3年5月13日（木）	サンシップとやま
第3回	令和3年6月22日（火）	サンシップとやま
第4回	令和3年8月27日（金）	文書開催
第5回	令和3年10月22日（金）	サンシップとやま
第6回	令和3年11月12日（金）	サンシップとやま
第7回	令和3年12月24日（金）	サンシップとやま
第8回	令和4年2月18日（金）	文書開催

④ 評価調査者の登録

登録者 28名（令和4年3月末日現在）

(2) 利用者の福祉サービスの選択

介護サービス情報の公表事業の実施

・指定情報公表センターの運営

「令和3年度情報公表計画」に基づく報告・調査・公表事務

報告受理事業所 1,886件（令和3年10月～令和4年3月）

調査事業所 42件（令和3年11月～令和4年3月）

公表事業所 1,886件（令和3年10月～令和4年3月）

・新規事業所説明会の開催 1回

第1回 令和3年9月6日（月）付 資料送付をもって代替

第2回 令和4年1月28日（金） サンシップとやま

・指定調査機関の運営

調査対象事業所への訪問調査実施 42件

・調査員の登録

登録者 30名（令和4年3月末日現在）

(3) 福祉サービスに関する苦情解決のための取り組み強化

① 福祉サービス運営適正化委員会の開催

第1回 令和3年6月17日(木) サンシップとやま

② 日常生活自立支援事業の運営監視

ア 運営監視部会による現地調査の実施

令和3年7月13日(火)～7月30日(金) 対象:5市町社協(富山市、高岡市、射水市、立山町、朝日町)

イ 運営監視部会の開催

令和3年9月17日(金) サンシップとやま

協議事項:実施状況、現地調査結果、現地調査報告

③ 福祉サービスに関する苦情解決事業の推進

ア 苦情解決部会の開催(年6回)

第1回 令和3年4月22日(木) 県教育文化会館

第2回 令和3年6月17日(木) サンシップとやま

第3回 令和3年8月19日(木) 文書

第4回 令和3年11月4日(木) 県教育文化会館

第5回 令和3年12月23日(木) サンシップとやま

第6回 令和4年3月3日(木) サンシップとやま

イ 苦情解決に必要な助言、相談、調査

苦情・相談受付件数:47件

ウ 広報・啓発、調査研究の実施

- ・ 県社協ホームページ、県社協広報誌「福祉とやま」への掲載、リーフレット1,000部、福祉事業所等における苦情解決の手引き等の配布による広報啓発

エ 苦情解決責任者・苦情受付担当者・第三者委員を対象とした研修会の開催

- ・ 福祉サービス苦情解決研修会の開催

令和4年3月8日(火) オンライン 参加者:233名

講義①「苦情対応に求められる事業所の姿勢と苦情解決のあり方」

講義②「第三者委員の役割」

講師 駒澤大学文学部社会学科社会福祉学専攻 教授 川上 富雄 氏

【推進項目 7】

地域福祉推進のための組織基盤の強化

富山県社協は地域福祉推進を目的とする公益かつ広域的な組織として、社会福祉関係者や住民等と連携を図りながら、県内の様々な福祉・生活課題に対応してまいります。

多種多様な事業を効果的に展開していくために、適正な業務執行体制の確立を図るとともに、人材育成や民間財源の適切な活用、自主財源の確保、調査研究や情報発信機能の強化など、組織基盤の強化を図りました。

1 経営・財政基盤の強化

(1) 県社協第5次活動推進計画の策定

第4次活動推進計画の評価を実施するとともに、新たに第5次活動推進計画を策定するため、本会が今後取り組むべき方向性や強化すべき事項等について協議・検討した。

① 策定委員会の開催

第1回 令和3年10月12日(火) サンシップとやま
第4次計画の進捗状況及び評価について

第2回 令和4年3月16日(水) サンシップとやま・オンライン
第5次計画の骨子案について

② プロジェクトチーム打ち合わせ会の開催

令和3年6月～令和4年3月 サンシップとやま 計27回開催

③ 学習会の開催

令和3年8月26日(木) サンシップとやま・オンライン 参加者：18名

講義 「地域共生社会の実現に向け県社協に期待する役割と計画策定の意義」

講師 文京学院大学 教授 中島 修氏

(2) 適正な業務執行体制の確立

① 役員会等の開催状況

会議名	開催日	主な審議事項
正副会長 会議	第1回 令和3年5月27日	第3回理事会への提出議案等
	第2回 令和4年3月18日	第7回理事会、第2回評議員会への提出議案等
理事会	第1回 (書面) 令和3年4月10日	専務理事の選定
	第2回 (書面) 令和3年5月13日	評議員候補者の選定
	第3回 令和3年6月3日	2年度事業報告・収支決算、第三者委員の選任、次期役員候補者の選定、次期評議員候補者の選定、第1回評議員会(定時評議員会)の招集、第2回評議員選任・解任委員会の招集、福祉サービス運営適正化委員会事業報告、会長及び専務理事の職務執行状況報告

	第4回	令和3年6月25日	会長、副会長、専務理事の選定、評議員選任・解任委員の選任
	第5回 (書面)	令和3年11月9日	評議員候補者の選定
	第6回 (書面)	令和4年2月21日	第2回評議員会の招集
	第7回	令和4年3月25日	経理規程の一部改正、3年度収支補正予算、4年度事業計画・収支予算、一時借入金(案)、資金運用方針(案)、社協の保険(役員等賠償補償)の加入内容、就業規則の一部改正、名誉会長の推薦、役員候補者の選定、評議員候補者の選定、評議員選任・解任委員の選任、第6回理事会議案第1号の決議内容の一部変更、第5次活動推進計画(案)の報告、会長及び専務理事の職務執行状況報告
評議員会	第1回 (書面)	令和3年6月24日	2年度事業報告・収支決算、任期満了に伴う次期役員を選任
	第2回 (書面)	令和4年3月31日	3年度収支補正予算、4年度事業計画・収支予算、名誉会長の委嘱、役員を選任
監事会		令和3年5月24日	2年度業務執行状況及び財産状況の監査
評議員 選任・解任 委員会	第1回 (書面)	令和3年5月20日	評議員の選任
	第2回	令和3年6月18日	次期評議員の選任
	第3回 (書面)	令和3年11月24日	評議員の選任

(3) 社協活動の推進に向けた市町村社協との協議

① 市町村社協会長会議の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

② 市町村社協専務・常務理事、事務局長会議の開催

令和4年2月24日(木) オンライン

次年度予算及び事業説明・情報交換等

(4) 会員施設・事業所、賛助会員の加入促進

令和4年3月末現在会員状況

正会員：1,102 施設・団体 賛助会員：151 団体・個人

(5) 多様な民間財源・基金の活用と自主財源の確保

① 基金運営委員会の開催

文書審議

報告事項 両基金の積立・運用及び収益金の状況について

審議事項 基金運営委員会における委員長及び副委員長の選任について

令和4年度基金収益金の配分案について

② 研修受講料の徴収

③ 図書斡旋による手数料収入の確保

2 情報収集と発信機能の強化

(1) 富山県社会福祉功労者表彰式の開催

富山県内で地域福祉活動や募金活動の推進にご尽力いただいた個人・団体を表彰した。
令和3年10月21日（木） 富山県民会館

(2) 福祉・生活課題の解決に向けた提言活動の推進

県福祉関係施策及び令和4年度県予算に関する要望書を令和3年11月9日に県・関係方面へ提出した。

(3) ウェブサイトや広報誌等の効果的活用による情報発信機能の強化

① 県社協ホームページ活用事業

情報発信の仕組みとして安定的に運用され、より閲覧しやすく情報を得やすいウェブサイトとなるよう、ページの改訂等を随時行った。

② 広報誌「福祉とやま」の発行及び編集会議の開催

- ・ 広報誌「福祉とやま」（奇数月に各11,000部発行）
- ・ 広報誌編集会議の開催 令和3年4月28日（水）、10月22日（金）

(4) 各種助成金情報の提供

福祉関連の助成金情報についてウェブサイトに掲載し、広く周知するとともに助成金の問い合わせがあれば随時紹介・案内を行った。

3 組織体制の強化

(1) 事務局体制の強化と職員の専門性や資質向上に向けた取り組みの推進

社協職員として必要な知識・技術の習得を図るため、外部研修へ参加及び通信教育講座を受講

- ・ 都道府県・指定都市社会福祉協議会管理職員研修会受講（2名）
- ・ " 中堅職員研修会受講（3名）
- ・ " 新任職員研修会受講（2名）
- ・ 通信教育講座受講（実力中堅社員コース1名）

(2) 組織全体として課題に対応するための企画立案機能の強化

第5次活動推進計画の策定にあたり、組織横断的なメンバーによるプロジェクトチームを設置し、協議・検討及び学習会を実施した。

(3) 指定管理者としての富山県総合福祉会館（サンシップとやま）の機能強化

- ① 施設の指定管理業務を富山県から受託
- ② 指定管理期間（第4期 3年目）：2018年4月1日～2023年3月31日（5年間）
- ③ 施設の利用状況
 - ・ 研修室等利用率 38.41%（前年比 +5.59%）
 - ・ 利用料収入 26,980千円（前年比 +11.04%）

・減免団体利用率 93.76% (前年比 +1.14%)

令和3年度事業報告附属明細書

令和3年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の2第5第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。